

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		北島誠	■ 1年 前期	
到達目標	自己分析・企業のリストアップ			2単位 32時数 実務経験 無
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		レポート・課題提出
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	業界EXPO・就職活動 解説			
2	2年間および前期の目標の設定 (個別面談)			
3	過去 (中学や高校時代) のエピソードを交えた、自分の掘り起こし			
4	エピソードを交えた、具体的な行動や体験の掘り起こし			
5	中学や高校時代のエピソードを交えた、現在の自分の掘り起こし			
6	エピソードを交えた、具体的な行動や体験の掘り起こし			
7	自分の長所・短所の発見			
8	面接官が共有できる様エピソードを入れた自己PRの完成			
9	指摘を受けた箇所の修正。			
10	目標の設定・確認 (個別面談)			
11	WEBを活用した企業のリストアップ (3~5社)			
12	リストアップした企業の研究 (企業情報の収集)			
13	リストアップした企業の研究 (企業情報の収集)			
14	リストアップした企業の研究 (企業情報の収集)			
15	リストアップした企業の研究 (企業情報の収集)			
16	現時点でのエピソードを交えた、現在の自分の発見			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		北島誠	■ 1年 後期	
到達目標	具体的な就職活動のイメージの明確化			2単位 32時数 実務経験 無
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	レポート・課題の提出	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	業界EXPO・就職活動 解説・第2クールの振り返り			
2	2年間および第3クールの目標の設定			
3	業界EXPO招聘企業の研究			
4	業界EXPO招聘企業の研究			
5	履歴書の作成			
6	プロフィールシートの作成			
7	プロフィールシートの作成			
8	業界EXPO参加に向けた、立ち居振る舞いなどの解説／中間評価			
9	個別カウンセリング			
10	業界EXPOを終えての就職活動への結びつけ			
11	受験企業のリストアップ・採用スケジュールの把握			
12	受験企業のリストアップ・採用スケジュールの把握			
13	履歴書完成			
14	個人・集団面接 説明・練習			
15	個人・集団面接 説明・練習 振り返りシートの作成			
16	集団面接形式による社会性検定の実施			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		北島	■ 2年 後期	
到達目標	具体的な就職活動のイメージの明確化			2単位 32時数 実務経験 無
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	レポート・課題の提出	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	就職活動 解説・1年次振り返り			
2	企業研究①			
3	企業研究①			
4	企業研究②			
5	企業研究②			
6	受験企業のリストアップ・採用スケジュールの把握			
7	受験企業のリストアップ・採用スケジュールの把握			
8	個別カウンセリング			
9	個人・集団面接 説明・練習			
10	個人・集団面接 説明・練習			
11	個人・集団面接 説明・練習			
12	個人・集団面接 説明・練習			
13	個人・集団面接 説明・練習			
14	個人・集団面接 説明・練習			
15	個人・集団面接 説明・練習			
16	振り返りシートの作成			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：キャリアガイダンス		北島	■ 2年 後期	
到達目標	具体的な就職活動のイメージの明確化			2単位 32時数 実務経験 無
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		レポート・課題の提出
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業			
2	履歴書の作成/面談練習			
3	履歴書の作成/面談練習			
4	履歴書の作成/面談練習			
5	履歴書完成			
6	個人面談/就職活動報告			
7	個人面談/就職活動報告			
8	個人面談/就職活動報告			
9	個人面談/就職活動報告			
10	個人面談/就職活動報告			
11	個人面談/就職活動報告			
12	個人面談/就職活動報告			
13	個人面談/就職活動報告			
14	個人面談/就職活動報告			
15	個人面談/就職活動報告			
16	就職活動報告			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：サービス接遇		堂上美智子	■ 1年 前期	
到達目標	サービス接遇2級受験合格			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	開始授業説明、到達点について			
2	現状の敬語力			
3	小テスト／尊敬、丁寧			
4	小テスト／謙譲語			
5	小テスト／よく間違える敬語の使い方			
6	検定対策（模擬テスト）			
7	検定対策（模擬テスト）			
8	中間テスト			
9	振り返り、次授業説明、到達点について			
10	敬語・グループ研究（グループワーク）			
11	敬語・グループ研究（グループワーク）			
12	敬語・グループ研究（グループワーク）			
13	敬語・グループ研究（グループワーク）			
14	敬語・グループ研究（グループワーク）			
15	敬語・グループ研究（グループワーク）			
16	最終テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：サービス接遇		堂上美智子	■ 1年 後期	
到達目標	接客で正しい敬語を身につける・サービス接遇検定準1級合格			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	開始授業説明、到達点について			
2	理解できていないところの把握と克服			
3	過去問（敬語）			
4	場面に応じた文章作成・問題集（アナウンス文0			
5	場面に応じた文章作成・問題集（提示文）			
6	場面に応じた文章作成・問題集（販売分）			
7	模擬テスト			
8	筆記テスト・実技テスト			
9	振り返り、次授業説明、到達点について			
10	電話の受け方・名前伺い			
11	聞き取り			
12	伝言の受け方とメモ			
13	会話のバトンタッチ			
14	クレーム			
15	ケーススタディ			
16	筆記テスト・実技テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：サービス接遇		堂上美智子	■ 2年 前期	
到達目標	ビジネスシーンに合わせた対応の仕方を習得			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	授業説明、到達点について			
2	フォーマット、話し方の知識、発声訓練は授業開始時毎回			
3	①感じの良さ②話の要約③敬語④言葉遣い→二人で練習			
4	①明瞭な発音②整った口調③落ち着きのある④分りやすい話し方→二人で練習			
5	⑤しっかりとした話し方⑥端的な⑦区切りのある⑧電話の特性 →二人で練習			
6	①感じよく②相手を確認③用件④伝言を受ける			
7	⑤伝言を伝える⑥当方を紹介⑦他人を紹介⑧説明ができる⑨説得			
8	筆記テスト：範囲 知識B（知識／技能）			
9	前クール振り返り、検定対策			
10	電話での挨拶、問い合わせ方、企業への求人応募、面接予約、お礼の電話			
11	過去問小テスト /解説			
12	過去問小テスト /解説			
13	グループワーク（挨拶／説明／対応訓練）			
14	グループワーク（挨拶／説明／対応訓練）			
15	グループワーク（挨拶／説明／対応訓練）			
16	筆記テスト：範囲：話し方の知識／技能／実技			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：硬筆書写Ⅰ		安藤	■ 1年 前期	
到達目標	文字の基本と書式を学び、平仮名、片仮名、縦組、横組み、読みやすい文字を書く			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	課題提出・筆記試験	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	クール開始授業説明、到達点について			
2	姿勢、ペンの持ち方、平仮名			
3	文章中での平仮名の役割			
4	平仮名の書き取り			
5	まとめ提出			
6	横書きの様式			
7	横書きの様式			
8	筆記テスト（実技）			
9	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について			
10	下書きをつくる 添削			
11	添削から1枚仕上げる			
12	まとめ提出			
13	横書き			
14	横書き			
15	ハガキの横書き			
16	筆記テスト（実技）			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：硬筆書写Ⅰ		安藤	■ 1年 後期	
到達目標	企業への送付物（履歴書含む）の宛名書き ビジネスシーンにおける文書（宛名、封筒、メール）の書き方・硬筆書写検定3級合格			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	課題提出・筆記試験	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	授業説明、到達点について			
2	行書、草書の読み方			
3	文章中での平仮名の役割			
4	縦書き 常用漢字（提出）			
5	理論（過去問より解説） 掲示文の書き方 油性マジック（提出）			
6	模擬試験（過去問）			
7	検定実施			
8	筆記テスト 実技：授業で書いた課題提出			
9	名前（楷書、行書）縦書き9行			
10	ハガキ、封筒の書き方個人宛（提出）			
11	封筒の書き方（企業）（提出）			
12	自己PR、志望動機			
13	自己PR、志望動機			
14	インターン先の企業への送付書類一式			
15	インターン後のお礼状フォーマット作成			
16	実技テスト：課題の提出			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ホームルーム		三屋	■ 1年 前期	
到達目標	学校の秩序を守る・報告・連絡・相談の徹底			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		出席状況・取得単位等
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	クラスの決まりごとの確認。伝達事項の共有。健康管理のチェック			
2	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
3	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
4	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
5	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
6	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
7	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
8	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
9	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
10	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
11	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
12	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
13	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
14	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
15	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
16	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ホームルーム		三屋	■ 1年 後期	
到達目標	学校の秩序を守る・報告・連絡・相談の徹底			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	出席状況・取得単位等	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	クラスの決まりごとの確認。伝達事項の共有。健康管理のチェック			
2	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
3	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
4	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
5	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
6	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
7	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
8	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
9	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
10	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
11	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
12	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
13	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
14	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
15	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			
16	伝達事項の共有。健康管理のチェックほか			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス	授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：Word	小磯	■ 1年 前期
到達目標	基本的なWordの知識・技術の習得 基本的な操作方法の習得から応用・実用法の習得 Word文書処理技能認定試験3級合格	
	2単位 32時数 実務経験 有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準
		筆記試験による習得度
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)
1	導入授業	Word文書処理技能認定試験受験に向けた解説
2	Word・データの基本	画面構成・操作・選択・入力 タイピング (10分)
3	文字の入力と編集	入力と変換・選択・移動・保存 タイピング (10分)
4	文書の編集	書式設定・字下げと行間 タイピング (10分)
5	文書の編集・印刷	禁則処理・罫線と網掛け タイピング (10分)
6	練習問題	文字入力・編集の練習問題の実施 タイピング (10分)
7	確認問題	文字入力・編集の確認問題の実施 タイピング (10分)
8	復習問題	文字入力・編集の復習問題の実施 タイピング (10分)
9	集中授業	
10	文書の作成	入力オートフォーマット・タブ・インデント 練習問題 タイピング (10分)
11	表を使った文書の作成	表の作成と編集、装飾 練習問題 タイピング (10分)
12	図形や画像を使った文書の作成	図形の作成と編集・テキストボックス・ワードアート 練習問題 タイピング (10分)
13	確認問題	確認問題の実施 タイピング (10分)
14	練習問題	Word文書処理技能認定試験3級問題集の活用 タイピング (10分)
15	練習問題	Word文書処理技能認定試験3級問題集の活用 タイピング (10分)
16	総合復習問題	総合復習問題の実施

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：Excel		小磯	■ 1年 後期
到達目標	基本的な操作方法の習得から応用・実用法の習得		2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	Excel操作の習得度
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業の説明/注意	
2	コンピュータの基本	コンピュータ（インターネット）の 利用法・活用方法 タイピング（10分）	
3	Excel・データの基本	画面構成・操作・選択・入力 タイピング（10分）	
4	表の編集	罫線・セルの書式・表示形式・調整 タイピング（10分）	
5	表の編集・印刷	表示モード・ページ設定・印刷範囲・印刷 タイピング（10分）	
6	練習問題	データの編集・表の編集の練習問題の実施 タイピング（10分）	
7	確認問題	データの編集・表の編集の 確認問題の実施 タイピング（10分）	
8	復習問題	テスト	
9	グラフと図形	グラフの作成と編集・図形の活用 練習問題 タイピング（10分）	
10	グラフと図形	グラフの作成と編集・図形の活用 練習問題 タイピング（10分）	
11	ブックの利用と管理	ワークシートの管理と活用 ウィンドウの操作 タイピング（10分）	
12	関数	統計・数学/三角関数 練習問題 タイピング（10分）	
13	関数	論理関数・日付関数 練習問題 タイピング（10分）	
14	データベース機能	リストの作成・並べ替え・抽出 タイピング（10分）	
15	確認問題	確認問題の実施 タイピング（10分）	
16	総合復習問題	テスト	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Excel		小磯	■ 2年 前期	
到達目標	Excelの応用・実用法の習得			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		PC操作の習得度
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明		
2	ワークシート・ブックの作成と管理			
3	ワークシート・ブックの作成と管理			
4	ワークシート・ブックの作成と管理			
5	ワークシート・ブックの作成と管理			
6	ワークシート・ブックの作成と管理			
7	セルやセル範囲の作成			
8	セルやセル範囲の作成			
9	セルやセル範囲の作成			
10	テーブルの作成			
11	テーブルの作成			
12	テーブルの作成			
13	テーブルの作成			
14	テーブルの作成			
15	復習			
16	テスト			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Excel		小磯	■2年 後期	
到達目標	Excelの応用・実用法の習得			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	PC操作の習得度	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明		
2	数式や関数の適用			
3	数式や関数の適用			
4	数式や関数の適用			
5	数式や関数の適用			
6	グラフやオブジェクトの作成			
7	グラフやオブジェクトの作成			
8	確認問題			
9	確認問題			
10	確認問題			
11	確認問題			
12	模擬試験			
13	模擬試験			
14	模擬試験			
15	模擬試験			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ハードウェア概論		三屋	■ 1年 前期	
到達目標	コンピュータを構成するハードウェア機器の役割を学びマイクロコンピュータの仕組みが理解できる。 マイクロコンピュータを使ったセンサやモータの制御方法を習得する。 マイコンボードを使った組み込み機器の仕組みが理解できる。			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	五大機能	ハードウェア、コンピュータの種類、五大機能、演算と制御		
3	メモリ補助記憶装置	メインフレーム、ワークステーション、PCの違い、絶対バスと相対バス		
4	演算装置	クロック、デュアルコア、オクタコア		
5	インターフェース	シリアルコンソールの使い方、ブレッドボードの使い方		
6	マイクロコンピュータ	IDE開発環境		
7	LED制御	LED高速点滅から低速点滅へ		
8	中間課題評価	筆記テスト： 実技テスト：五大機能の役割		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	フルカラーLED制御	二つのLEDを外部回路に実装、フルカラーLEDを外部回路に実装		
11	スイッチと抵抗	スイッチの値を保存する、定数、配列、関数		
12	圧電スピーカ	周波数値による音階作成		
13	光センサ制御	CDSによる光のコントロール		
14	モータ制御	モータドライバによる回転制御		
15	フォトセンサ制御	フォトセンサを利用したライントレース		
16	最終課題評価	筆記テスト： 実技テスト：マイコンを使ったオルゴールの設計、ロボットボイスマイコンの製作		

学校名：九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：プログラミング言語I		三屋 恵一郎	■ 1年 前期
到達目標		コマンドコンソールを使用して機器制御の分野で活用されるプログラムの作成方法を習得する。	
授業の方法		(講義・実習・ 演習 ・実技)	成績評価の方法・基準
回		授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)
1	1週目	導入授業	
2	2週目	プログラミング環境構築	Linux+gcc+TeraTerm
3	3週目	プログラムの構造	Linux+gcc+TeraTerm
4	4週目	変数	Linux+gcc+TeraTerm
5	5週目	要素と書式	Linux+gcc+TeraTerm
6	6週目	演算	Linux+gcc+TeraTerm
7	7週目	型	Linux+gcc+TeraTerm
8	8週目	課題実習	Linux+gcc+TeraTerm
		試験	筆記試験
9	9週目	条件分岐 (if文)	Linux+gcc+TeraTerm
10	10週目	条件分岐 (switch文)	Linux+gcc+TeraTerm
11	11週目	繰り返し (while文)	Linux+gcc+TeraTerm
12	12週目	繰り返し (for文)	Linux+gcc+TeraTerm
13	13週目	繰り返し (多重ループ)	Linux+gcc+TeraTerm
14	14週目	配列	Linux+gcc+TeraTerm
15	15週目	配列 (多次元)	Linux+gcc+TeraTerm
16	16週目	課題実習	Linux+gcc+TeraTerm
		試験	筆記試験

学校名：九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：プログラミング言語I		三屋 恵一郎	■ 1年 後期
到達目標		Java言語基礎 コマンドコンソールを使用してOSに依存しないプログラムの作成方法を習得する。	
授業の方法		(講義・実習・ 演習 ・実技)	成績評価の方法・基準
回		授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)
1	1週目	導入授業	
2	2週目	プログラミング環境構築	JavaSDK 8 + TeraTerm
3	3週目	プログラムの構造	JavaSDK 8 + TeraTerm
4	4週目	変数	JavaSDK 8 + TeraTerm
5	5週目	変数 (課題実習)	JavaSDK 8 + TeraTerm
6	6週目	計算式	JavaSDK 8 + TeraTerm
7	7週目	計算式 (課題実習)	JavaSDK 8 + TeraTerm
8	8週目	演算子と型変換 試験	JavaSDK 8 + TeraTerm 筆記試験
9	9週目	条件分岐	JavaSDK 8 + TeraTerm
10	10週目	条件分岐 (課題実習)	JavaSDK 8 + TeraTerm
11	11週目	繰り返し	JavaSDK 8 + TeraTerm
12	12週目	繰り返し (課題実習)	JavaSDK 8 + TeraTerm
13	13週目	配列	JavaSDK 8 + TeraTerm
14	14週目	配列 (課題実習)	JavaSDK 8 + TeraTerm
15	15週目	メソッド	JavaSDK 8 + TeraTerm
16	16週目	メソッド (課題実習) 試験	JavaSDK 8 + TeraTerm 筆記試験

学校名：九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：プログラミング言語II		三屋 恵一郎	■ 2年 前期
到達目標	統合開発環境を使用してOSに依存しないWindowベースのアプリケーションプログラムの作成方法を習得する。 Java言語		
授業の方法	(講義・実習 (演習) 実技)		成績評価の方法・基準
回	月/日	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)
1	1週目	導入授業	
2	2週目	統合開発環境とGUIプログラミング	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
3	3週目	Windowフレーム作成	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
4	4週目	コンポーネントの作成	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
5	5週目	テキストフィールドの実現	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
6	6週目	イベント処理	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
7	7週目	イベント処理 (課題実習)	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
8	8週目	課題実習 試験	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE) 筆記試験
9	9週目	ToDoリストの作成	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
10	10週目	テキストビューアの作成	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
11	11週目	画像ビューアの作成	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
12	12週目	キーボードアクションの取得	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
13	13週目	アニメーションの表示	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
14	14週目	メモ帳アプリの作成 (入力・編集)	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
15	15週目	メモ帳アプリの作成 (保存・削除)	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE)
16	16週目	課題実習 試験	JavaSDK8+IDE(ECLIPSE) 筆記試験

九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：プログラミング言語II		三屋 恵一郎	■ 2年 後期	
到達目標	Windows系サーバにおけるサイドプログラムの作成方法を習得し Web検索アプリケーションを制作する。 Java言語		4単位 64時数	実務経験 有
授業の方法	(講義・実習・ 演習 ・実技)		成績評価の方法・基準	
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業			
2	プログラミング環境構築		IIS+ASP	
3	基本構文		IIS+ASP	
4	データの受け渡し		IIS+ASP	
5	フォワード		IIS+ASP	
6	セッションの継続		IIS+ASP	
7	クッキーの読み書き		IIS+ASP	
8	課題実習 中間試験		IIS+ASP 筆記試験	
9	データベース接続とレコード表示		Tomcat+JSP	
10	Webページとデータベース連携		Tomcat+JSP	
11	ログインプロセス		Tomcat+JSP	
12	セッション継続のログインプロセス		Tomcat+JSP	
13	Web検索アプリケーションの設計		Tomcat+JSP	
14	Web検索アプリケーションの実装		Tomcat+JSP+Servlet	
15	Web検索アプリケーションの実装		Tomcat+JSP+Servlet	
16	課題実習 最終試験		Tomcat+JSP+Servlet 筆記試験	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：データベースⅠ		三屋	■ 1年 前期
到達目標	正規化、モデリング、論理設計、物理設計などデータ構造の表記や設計の方法を習得する。SQL・正規化・ERDモデリングの概念を理解する。	4単位 64時数	
		実務経験有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について	
2	DB操作言語	関係データモデル、主キー-外部キー	
3	〃	video.db作成,select文	
4	〃	抽出SQL (where in、>=、<=、!=、,)	
5	〃	抽出SQL (order by,ascend,descend)	
6	〃	抽出SQL (count(*),group by,)	
7	DB操作演習	都道府県.db作成,都道府県テーブルより人口密度の表示	
8	〃	市町村テーブルより人口密度の表示	
9	〃	都道府県の人口密度を多い順に表示する	
10	〃	市町村の人口が少ない順に県名も含めて表示する	
11	〃	簡単なSQL参照製菓の実習	
12	〃	テーブル作成、データ投入、更新波及、削除波及、ビュー作成、実表と仮想表、ER図	
13	〃	ITパスポート問題（顧客-売上）のDB実装	
14	〃	販売DBのSQL展開、操作の実習	
15	DBサーバ導入	PostgreSQLサーバ導入、ネットワーク設定、CSE接続確認	
16	中間課題評価	筆記テスト： 実技テスト：抽出SQL	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：データベースⅠ		三屋	■ 1年 後期	
到達目標	正規化、モデリング、論理設計、物理設計などデータ構造の表記や設計の方法を習得する。 SQL・正規化・ERDモデリングの概念を理解する。		4単位 64時数	
			実務経験 有	
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	DBサーバ復元	PostgreSQL、受注データベースの復元		
3	DBMS	参照制約の確認、トランザクション、排他制御		
4	〃	ロック、正規化例題		
5	DB設計	正規化演習（注文書）→ERDモデリング→SQL作成		
6	〃	正規化演習→SQL実装→導出項目復元エラー→再設計→第五正規形		
7	DB設計演習	Ipass受注票→正規化→実装		
8	〃	社員情報管理データベースの作成		
9	〃	社員情報管理データベースの実装		
10	〃	DVD管理データベースの作成		
11	〃	DVD管理データベースの実装		
12	〃	電話番号管理データベースの作成		
13	〃	電話番号管理データベースの実装		
14	〃	PC所有データベースの作成		
15	〃	PC所有データベースの実装		
16	最終課題評価	筆記テスト： 実技テスト：正規化とモデリング		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：データベースⅡ		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	関係演算の考え方とともに、RDBの実践的な設計方法及び操作方法を習得する。 プログラムからデータベースへの問い合わせを行い結果を取得する方法を習得する。			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	DBシステムの構築演習	名簿管理DBの設計と実装		
3	〃	テーブル設計		
4	〃	物理DBの構築		
5	〃	データ入力とクエリの作成		
6	社員情報管理DB データモデリング	社員原票の正規化		
7	〃	ERDモデリング		
8	〃	SQL-DDL概念データモデルの作成		
9	社員情報管理DB Windowsサーバに実装	データベースサーバ (PostgreSQL) の導入		
10	〃	テーブル実装 (概念スキーマ構築)		
11	〃	テストデータ入力		
12	〃	社員原票を復元 (外部スキーマ) するためのビューを作成		
13	社員情報管理DB Linuxサーバに実装	データベースサーバ (PostgreSQL) の導入		
14	〃	テーブル実装 (概念スキーマ構築) テストデータ入力		
15	〃	社員原票を復元 (外部スキーマ) するためのビューを作成		
16	中間課題評価	筆記テスト： 実技テスト：Linux版社員情報管理DB		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：データベースⅡ		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	関係演算の考え方とともに、RDBの実践的な設計方法及び操作方法を習得する。 プログラムからデータベースへの問い合わせを行い結果を取得する方法を習得する。			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	クラウド環境構築課題演習 社内図書管理システム	要件定義、論理データモデル作成		
3	DB設計	ERDモデリング		
4	〃	ERDモデリング		
5	〃	SQL-DDL概念データモデルの作成（テーブル設計）		
6	〃	SQL-DDL概念データモデルの作成（テーブル設計）		
7	DB実装	テーブル実装（概念スキーマ構築）		
8	〃	テーブル実装（概念スキーマ構築）		
9	〃	テストデータ作成		
10	〃	テストデータ入力		
11	〃	外部スキーマ作成		
12	〃	ネットワークセキュリティ設定、権限付与		
13	システム実装	クライアントアプリケーションの実装（フレームワーク作成）		
14	〃	クライアントアプリケーションの実装（DB問い合わせ）		
15	〃	クライアントアプリケーションの実装（ResultSet取得）		
16	最終課題評価	筆記テスト： 実技テスト：社内図書管理システムの評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：ITパスポート		三屋	■ 1年 前期
到達目標	ITを活用するために必要なコンピュータ、経営戦略、マネジメント、ネットワークなど、幅広い知識を講義と問題演習により習得する。 ITパスポート試験合格を目指す。		4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について	
2	基礎理論	基礎理論	
3	基礎理論	アルゴリズムとプログラミング	
4	コンピュータシステム	構成要素	
5	コンピュータシステム	システム構成	
6	コンピュータシステム	ソフトウェア	
7	コンピュータシステム	ハードウェア	
8	技術要素	ヒューマンインターフェース	
9	技術要素	マルチメディア	
10	技術要素	データベース	
11	技術要素	ネットワーク	
12	技術要素	セキュリティ	
13	表計算	表計算ソフトウェア	
14	表計算	式	
15	表計算	関数の利用	
16	CBT試験対策	筆記テスト：テクノロジー系過去問 実技テスト：	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：ITパスポート		三屋	■ 1年 後期
到達目標	ITを活用するために必要なコンピュータ、経営戦略、マネジメント、ネットワークなど、幅広い知識を講義と問題演習により習得する。 ITパスポート試験に合格する。		4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について	
2	企業と法務	企業活動	
3	企業と法務	法務	
4	経営戦略	経営戦略マネジメント	
5	経営戦略	技術戦略マネジメント	
6	経営戦略	ビジネスインダストリ	
7	システム戦略	システム戦略	
8	システム戦略	システム企画	
9	開発技術	システム開発技術	
10	開発技術	ソフトウェア開発管理技術	
11	プロジェクトマネジメント	知識エリア	
12	サービスマネジメント	ファシリティマネジメント	
13	サービスマネジメント	システム監査	
14	新出項目	新しい技術や手法	
15	新出項目	情報セキュリティ	
16	CBT試験対策	筆記テスト：ストラテジ系・マネジメント系過去問 実技テスト：	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Java言語		三屋	■ 1年 前期	
到達目標	プログラム実装に必要な順次処理、繰り返し処理、条件分岐処理の構文を習得する。 コマンドコンソールを使用してOSに依存しないプログラムの作成方法を習得する。 Java検定試験に合格する。			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	環境構築	プログラミング環境構築		
3	HelloWorld	プログラムの構造		
4	構文	変数		
5	〃	計算式		
6	〃	演算子と型変換		
7	演習	計算式（課題）		
8	中間テスト	筆記テスト： 実技テスト：ABC評価のフローチャート実装		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	構文	条件分岐		
11	〃	繰り返し		
12	〃	配列		
13	〃	メソッド		
14	演習	配列（課題演習）		
15	〃	メソッド（課題演習）		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：一文字ずらしのアルゴリズム		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Java言語		三屋	■ 1年 後期	
到達目標	IDE（統合開発環境）を使用してGUIアプリケーションの効率的な作成方法を習得する。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	開発環境作成	IDEの導入		
3	〃	IDEの使用方法		
4	Windowベースアプリケーション基本	Swingの基本とJframe		
5	〃	テキストフィールドの実装		
6	〃	Swingのイベントと処理を知る		
7	〃	画像表示のプログラム		
8	〃	Dukeのジャグリングプログラム		
9	Windowベースアプリケーション演習	エディタプログラムの作成		
10	〃	〃		
11	〃	〃		
12	〃	シーザ暗号プログラムの作成		
13	〃	〃		
14	〃	〃		
15	〃	〃		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：シーザ暗号プログラムの評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アルゴリズム		三屋	■ 1年 前期	
到達目標	プログラム作成に必要な順次処理、繰り返し処理、条件分岐処理の概要を習得する。 すでに知られている基本的な問題解決手法について講義と演習により習得する。 問題解決のためのフローチャートが作成でき実装できる。			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	アルゴリズム	アルゴリズム		
3	フローチャート	流れ図の表記		
4	アルゴリズム	ABC評価		
5	"	平均点の算出		
6	"	最高点の算出		
7	"	最低点の算出		
8	中間課題評価	筆記テスト： 実技テスト：ABC評価のフローチャート作成		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	問題解決演習	うるう年の判定		
11	"	じゃんけんの判定		
12	"	数当てゲームのアルゴリズム		
13	"	サイコロシミュレーション		
14	"	モンテカルロ法（円周率の算出）		
15	"	文字列の反転		
16	最終課題評価	筆記テスト： 実技テスト：フィボナッチ数列の実装		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アルゴリズム		三屋	■ 1年 後期	
到達目標	基本情報技術者試験に必要な順次処理、繰り返し処理、条件分岐処理の手法を習得する。 すでに知られている基本的な問題解決手法について講義と演習により習得する。			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		授業説明、到達点、最終目標について	
2	アルゴリズムとデータ構造		アルゴリズムとデータ構造	
3	"		配列	
4	"		キューとスタック	
5	"		リスト構造	
6	"		木構造	
7	"		探索アルゴリズム	
8	中間課題評価		筆記テスト： 実技テスト：シミュレーションのアルゴリズム	
9	問題解決演習		探索アルゴリズム（二分木探索）	
10	"		整列アルゴリズム（バブルソート）	
11	"		整列アルゴリズム（選択ソート）	
12	"		整列アルゴリズム（挿入ソート）	
13	"		整列アルゴリズム（シェルソート）	
14	"		再帰アルゴリズム	
15	"		アルゴリズムの実行時間（クイックソート）	
16	最終課題評価		筆記テスト： 実技テスト：バブルソートのアルゴリズム	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ネットワーク基礎		三屋	■ 1年 後期	
到達目標	Webサーバの公開に必要なOSの環境を作成し操作、運用を行う方法を習得する。 LPIライセンスの取得を目指す。			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		授業説明、到達点、最終目標について	
2	サーバOS導入		ターミナル操作、OSインストール	
3	"		Linuxシステムの基本操作	
4	CLIによる操作		ファイルとディレクトリの操作	
5	"		コマンドラインとメタキャラクタ	
6	"		標準入出力と標準エラー出力	
7	"		ファイルの内容の表示と検索	
8	"		エディタ(vi)の使い方	
9	"		ファイルの編集	
10	セキュリティの設定		パーミッションとアクセス権	
11	ファイル操作		文字の置換	
12	"		並べ替え	
13	"		重複削除	
14	"		抽出・整列・比較	
15	"		文字列の検索	
16	最終課題評価		筆記テスト： 実技テスト：Linuxのファイル操作	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Web開発演習		三屋	■ 1年 前期	
到達目標	HTMLとCSSを使ってマルチメディアに対応したWebページを作成できる。 仮想的なNews記事を配信するホームページを制作できることを目標に実習を行う。 Webページを作成するために必要なHTMLの知識を習得する。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	htmlの基本構造	基本構造、topページ		
3	画像の表示	サンプル画像の取得、画像のあるページ		
4	リンクの設定	文字のリンクと画像のリンク、フォルダレベルが下がった場合のリンクの../対応		
5	テーブルタグ	セルに画像のはめ込み		
6	映像と音声の表示	映像、音声を表示するWebページ		
7	プロトコルの概要	http,ftp,Filezilla		
8	中間課題評価	筆記テスト： 実技ソフト・HTMLの基本構造		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	PetNews記事の選択	ベース記事の作成		
11	CSSによる記事の体裁	記事3本完成、CSSによる枠付き横並びの体裁		
12	記事ページの部品作成	タイトル、ナビゲーション、フッター作成		
13	記事ページの部品合成	記事とタイトル、ナビゲーション、フッターを合成		
14	記事サイトの作成	お知らせを追加		
15	アイキャッチの作成	Gifアニメーションを追加		
16	最終課題評価	筆記テスト： 実技ソフト・HTMLとCSSの基本構造		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Web開発演習		三屋	■ 1年 後期	
到達目標	HTMLとCSSを使ってマルチメディアに対応したWebページを作成できる。 仮想的なNews記事を配信するホームページを制作できることを目標に実習を行う。 Webページを作成するために必要なHTMLの知識を習得する。			2単位 32時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	動きのあるWebページの制作	html5 入門		
3	〃	要素とCSS		
4	〃	音声動画の取り扱い		
5	〃	CSSによる要素の動的な制御		
6	〃	JavaScriptによる動画の再生制御		
7	〃	テストページの制作		
8	中間課題評価	筆記テスト： 実技テスト：テストページの要件評価		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	シングルWebページ制作	サイト構成とTopページの作成		
11	〃	Linkページの作成		
12	〃	ボタンを角丸にしてグラデーションをつける		
13	〃	サイトメニューを作成		
14	〃	Jpegアニメーションに変更		
15	〃	全体調整		
16	最終課題評価	筆記テスト： 実技テスト：シングルWebページの要件評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Web開発演習		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	オープンソースのコンテンツ管理システム等を使いより訴求力のあるWebページを制作する技法を習得する。Webアプリケーションにおけるプログラムの実装方法を習得する。			4単位 64時数
				実務経験有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業		授業説明、到達点、最終目標について	
2	環境構築		LAMP環境構築	
3	"		XAMP環境構築	
4	"		WordPressの導入と設定	
5	CMS		コンテンツマネジメントシステムとは	
6	"		テンプレートの適用	
7	"		外部テンプレートの適用	
8	中間テスト		筆記テスト： 実技テスト：構築したネットワーク環境の評価	
9	Webサイトの作成		サイトの作成方法	
10	Webサイトの設計		サイトの設計	
11	"		イメージ部品の制作	
12	"		動的部品の制作	
13	"		テキストコンテンツの作成	
14	"		テンプレートの作成	
15	"		コンテンツの適用	
16	最終テスト		筆記テスト： 実技テスト：Webサイトの評価	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Web開発演習		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	オープンソースのコンテンツ管理システム等を使いより訴求力のあるWebページを制作する技法を習得する。商用レベルのWebサイトを構築する。			4単位 64時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	全体像の説明	ドメイン管理の仕組み		
3	商品販売サイトの設計	サイトの設計		
4	〃	〃		
5	〃	イメージ部品・動的部品の制作		
6	〃	〃		
7	〃	〃		
8	中間テスト	筆記テスト： 実技テスト：制作部品の状態評価		
9	商品販売サイトの実装	テキストコンテンツの制作		
10	〃	〃		
11	〃	〃		
12	〃	〃		
13	〃	テンプレートの選択		
14	〃	コンテンツの配置		
15	〃	〃		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：商品販売サイトの状態評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アプリケーション開発Ⅰ		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	クライアントサイドで稼働するJavaアプリケーションを開発する 制作物：GUI版社内図書管理システム			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	データベースサーバの構築	社内図書管理データベースの復元		
3	〃	ネットワークアクセス確認		
4	Swingプログラム開発	ログイン名を検索パラメータとする図書貸出し履歴表示アプリケーションを作成する		
5	〃	PostgreSQLのJDBCドライバを設定する		
6	〃	パッケージ用のディレクトリを作成する		
7	2階層アプリケーション	例外処理を作成する		
8	〃	Model (部品) とController (制御) の2階層に分割する		
9	〃	部品のコンパイルを行う		
10	〃	制御アプリケーションを実装する		
11	〃	ボタンの表示を変更する		
12	3階層アプリケーション	Model (部品) とView(GUI表示) とController (制御) の3階層に分割する		
13	〃	Look&FeelをMotifにする		
14	〃	テーブル表示部にタイトルをつける		
15	〃	必要な機能を満たすパネルレイアウトを作成し処理ロジックを実装する		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：アプリケーションの状態評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アプリケーション開発Ⅰ		三屋	■2年 後期	
到達目標	クライアントサイドで稼働するJavaアプリケーションを開発する 制作物：GUI版社内図書管理システム			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	3階層アプリケーション	Model (部品) とView(GUI表示) とController (制御) の3階層に分割する		
3	"	一般ユーザと管理者によりログイン後のGUIを変化させる		
4	"	このシステムではどのような問題が発生するか検討する		
5	"	起動時DatabaseServerIPを指定することで接続先を変えられるようにする		
6	"	ログイン (接続) 機能を実装する		
7	"	一般ユーザによる検索機能を実装する		
8	"	管理者によるSQLコマンド発行機能を実装する		
9	"	管理者機能が使えるのはIPをlocalhostとしたときのみとする		
10	"	入力・チェック項目・表示内容をクリアするボタンを作成する		
11	"	未返却書籍のみ表示するためのチェックボックスを作成する		
12	"	DB接続時は接続ボタンの機能を無効にする		
13	"	Windowにメニューバーを作成する		
14	"	セキュリティや表示が適正になされるよう調整		
15	"	配布用jarファイルを作成する		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：3階層アプリケーションの実装を評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：簿記		測上	■ 1年 前期	
到達目標	日商簿記3級を受験し、資格試験合格を目指す。			4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		小テスト・試験・課題提出・出席
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	簿記の基礎			
2	商品売買			
3	現金			
4	普通預金			
5	定期預金			
6	当座預金			
7	当座借越			
8	小口現金			
9	手形と電子記録債権			
10	貸付金・借入金			
11	手形貸付金・手形借入金			
12	債権債務			
13	費用			
14	貸倒引当金			
15	有形固定資産と減価償却			
16	確認試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：簿記		測上	■ 1年 後期	
到達目標	日商簿記3級を受験し、資格試験合格を目指す。			4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	小テスト・試験・課題提出・出席	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	法人税と消費税			
2	費用・収益の前払い・前受けと未払い・未収 訂正仕訳			
3	帳簿への記入			
4	株式の発行			
5	精算表の財務諸表			
6	帳簿の締め切り			
7	3級の内容の復習			
8	決算整理			
9	貸借対照表			
10	貸借対照表			
11	貸借対照表 損益計算書			
12	損益計算書			
13	検定対策講座Ⅰ			
14	検定対策講座Ⅱ			
15	検定対策講座Ⅲ			
16	検定対策講座Ⅳ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：簿記		測上	■ 2年 前期	
到達目標	日商簿記3級を受験し、資格試験合格を目指す。			4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		小テスト・試験・課題提出・出席
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	簿記の基礎			
2	商品売買			
3	現金			
4	普通預金			
5	定期預金			
6	当座預金			
7	当座借越			
8	小口現金			
9	手形と電子記録債権			
10	貸付金・借入金			
11	手形貸付金・手形借入金			
12	債権債務			
13	費用			
14	貸倒引当金			
15	有形固定資産と減価償却			
16	確認試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：簿記		測上	■ 2年 後期	
到達目標	日商簿記3級を受験し、資格試験合格を目指す。			4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	小テスト・試験・課題提出・出席	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	法人税と消費税			
2	費用・収益の前払い・前受けと未払い・未収 訂正仕訳			
3	帳簿への記入			
4	株式の発行			
5	精算表の財務諸表			
6	帳簿の締め切り			
7	3級の内容の復習			
8	決算整理			
9	貸借対照表			
10	貸借対照表			
11	貸借対照表 損益計算書			
12	損益計算書			
13	検定対策講座Ⅰ			
14	検定対策講座Ⅱ			
15	検定対策講座Ⅲ			
16	検定対策講座Ⅳ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：販売士		今井	■ 1年 前期	
到達目標	基本的知識・技術の習得			4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	模擬試験実施による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	ストアオペレーション			
2	ストアオペレーション			
3	ストアオペレーション			
4	ストアオペレーション			
5	ストアオペレーション			
6	ストアオペレーション			
7	ストアオペレーション			
8	ストアオペレーション			
9	ストアオペレーション			
10	ストアオペレーション			
11	ストアオペレーション			
12	ストアオペレーション			
13	ストアオペレーション			
14	ストアオペレーション			
15	ストアオペレーション			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：販売士		今井	■ 1年 後期	
到達目標	基本的知識・技術の習得			4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	模擬試験実施による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	マーケティング			
2	マーケティング			
3	マーケティング			
4	マーケティング			
5	マーケティング			
6	マーケティング			
7	マーケティング			
8	マーケティング			
9	マーケティング			
10	マーケティング			
11	マーケティング			
12	マーケティング			
13	マーケティング			
14	マーケティング			
15	マーケティング			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：販売士		今井	■ 2年 前期	
到達目標	基本的知識・技術の習得			4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	模擬試験実施による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	販売・経営管理			
2	販売・経営管理			
3	販売・経営管理			
4	販売・経営管理			
5	販売・経営管理			
6	販売・経営管理			
7	販売・経営管理			
8	販売・経営管理			
9	販売・経営管理			
10	販売・経営管理			
11	販売・経営管理			
12	販売・経営管理			
13	販売・経営管理			
14	販売・経営管理			
15	販売・経営管理			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：販売士		今井	■ 2年 後期	
到達目標	基本的知識・技術の習得			4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	模擬試験実施による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	販売・経営管理			
2	販売・経営管理			
3	販売・経営管理			
4	販売・経営管理			
5	販売・経営管理			
6	販売・経営管理			
7	販売・経営管理			
8	販売・経営管理			
9	販売・経営管理			
10	販売・経営管理			
11	販売・経営管理			
12	販売・経営管理			
13	販売・経営管理			
14	総復習 (検定対策)			
15	総復習 (検定対策)			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：システム開発		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	IoT機器を用いてエンベデッドOS系システムの開発を行う。 制作物：PHPによるWebアプリケーション			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	IoT機器の環境構築	OSのダウンロード、起動ディスクの作成		
3	〃	OSのインストール		
4	〃	OSの起動と初期設定		
5	〃	SSHのログインを有効にする		
6	〃	Rasbianのパッケージを最新のものに更新する		
7	〃	本体のファームウェアをアップデートする		
8	〃	テキストエディタVimをインストールする		
9	〃	SSHを有効にして接続する		
10	〃	有線LAN（イーサネット）の設定を調整する		
11	〃	無線LAN（WiFi）の設定を行う		
12	〃	Apacheの導入		
13	〃	ファイアウォールの設定		
14	〃	Webサイトの動作確認		
15	〃	PHPの導入		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：PHPによるWebアプリケーションの実装の評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：システム開発		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	IoT機器を用いてエンベデッドOS系システムの開発を行う。 制作物：RaspBerryPiインターネットラジオサーバ			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	インターネットラジオのサーバ構築	OS環境のインストール		
3	''	リポジトリのインストール		
4	''	再生ソフトのインストール		
5	''	音量調整ソフトのインストール		
6	''	音が途切れる、再生が途中で止まってしまう場合の対応を行う		
7	''	shoutcastでインターネットラジオ（音楽局）を探す		
8	''	チャンネル用シェルスクリプトを作成する		
9	''	チャンネル用シェルスクリプトに実行権を与える		
10	''	シンボリックリンクを張りチャンネルNoのみで実行可能にする		
11	''	音楽停止のためのkillallコマンドをインストールする		
12	''	自動起動用ファイルの設定を行う		
13	''	実行権を与えsystemctlによりデーモン登録を行う		
14	''	再起動で自動的に初期設定の音楽局が再生されるか確認する		
15	''	ネットワークログを確認し問題があれば対処する		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：インターネットラジオの実装を評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：オブジェクト指向プログラミング		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	オブジェクト指向プログラミングに必要な概念と実態、継承と多態、情報の隠蔽について実装の方法を習得する。 IDE環境を使ったJavaプログラミングの方法を習得する。			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	オブジェクト指向とは	全体像と本質		
3	インスタンスとクラス	クラスの定義方法		
4	〃	インスタンスの利用方法		
5	〃	クラス型と参照		
6	〃	コンストラクタ		
7	〃	静的メンバ		
8	中間課題評価	筆記テスト： 実技テスト：概念と実態の実装		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	カプセル化	目的とメリット		
11	〃	アクセス制御とgetter,setter		
12	継承	継承とコンストラクタ		
13	〃	正しい継承と間違った継承		
14	多態	抽象クラス		
15	〃	多態性のメリット		
16	最終課題評価	筆記テスト： 実技テスト：getter,setterの実装		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：オブジェクト指向プログラミング		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	オブジェクト指向プログラミングに必要な概念と実態、継承と多態、情報の隠蔽について実装の方法を習得する。 C++プログラミングの方法を習得する。			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	環境構築	プログラミング環境構築		
3	前提知識	基本構文の復習		
4	構文	クラスとインスタンス		
5	〃	スーパークラスとサブクラス		
6	〃	例外		
7	〃	インターフェース		
8	中間テスト	筆記テスト： 実技テスト：例外処理の実装		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	構文	ガーベジコレクション		
11	〃	スレッド		
12	〃	パッケージ		
13	〃	ファイル操作		
14	演習	ネットワークプログラムの制作 (PingStdout)		
15	〃	〃		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：応答要求プログラムの制作		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アプリケーション開発Ⅱ		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	クライアントサイドで稼働するJavaアプリケーションを開発する 制作物：品目・在庫テーブル管理アプリケーション			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	提出課題による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	データベースサーバの構築	生産管理データベースのモデルを確認		
3	〃	SQL-DDL物理テーブル作成		
4	〃	SQL-DML生産データ入力		
5	〃	SQL-DMLデータ抽出、内容確認		
6	品目テーブルの表示	品目テーブルの表示とロックアンドフィール		
7	〃	データベースアクセスパラメータを修正しDB接続用部品を作成する		
8	〃	すべてのJavaファイルを - d オプションつきでコンパイルする		
9	〃	QuerySwingViewControl を実行し品目テーブルの内容が出力されることを確認する		
10	在庫テーブルの更新と削除	在庫テーブルの更新と削除のSQL実装		
11	〃	テーブル内容保持Bean (部品) を作成する		
12	〃	在庫テーブル内容取得Bean (部品) を作成する		
13	〃	更新制御Controller (制御) を作成する		
14	〃	削除追加機能付きView (GUI表示) を作成する		
15	DukeのJugglingの実装	Jugglingアニメーション実行 (スレッド) と実行制御Controller (制御) を作成する		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：DukeのJugglingの実装の評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：アプリケーション開発Ⅱ		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	クライアントサイドで稼働するJavaアプリケーションを開発する 制作物：見込み生産計画入力アプリケーション			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	画面設計設計	Swingプログラムの環境設定		
3	コントロールパネルの設計	起動時コントロールの設計		
4	〃	DatabaseServerIPを指定するテキストフィールドを作成する		
5	〃	ログイン（接続）機能を実現するための項目フィールドを作成する		
6	コントロールパネルの実装	ルックアンドフィールの実装		
7	〃	コンソール起動用ボタン、Window消去ボタンを作成する		
8	〃	アイコンツールバー（ツールチップ付き）を作成する		
9	コンソール表示	標準出力の状態表示		
10	〃	ソースコード中の System.out.println を出力するコンソールWindowを作成する		
11	見込み生産計画入力	見込み生産計画入力画面の作成		
12	〃	基準生産計画（MPS）を入力するアプリを作成する		
13	〃	期間と計画品目はドロップダウンリストから選択できるようにする		
14	〃	MPSテーブルの内容を表示するアプリを作成する		
15	〃	カレンダーを作成する		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：MPSアプリの状態を評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ネットワークセキュリティ		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	インターネットの運用に必要なLinuxサーバ管理の方法を習得する。 Linux環境においてDNSサーバ、Mailサーバ、Webサーバなどのネットワーク環境を構築しセキュアな通信環境を実現する方法を習得する。			4単位 64時数
				実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	環境構築	LinuxディストリビューションCentOS7系を導入		
3	DNSサーバ構築	bindの導入と設定		
4	〃	〃		
5	Mailサーバ構築	postfixの導入と設定		
6	〃	dovecotの導入と設定		
7	環境テスト	クライアントマシンからルーティング確認、プレーンテキスト送受信確認		
8	中間テスト	筆記テスト： 実技テスト：構築したネットワーク環境の評価		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	暗号化通信とセキュリティ	電子証明書の作成（公開鍵の作成）		
11	〃	postfixの暗号化通信（SSL/TLS）		
12	Webサーバ構築	apacheの導入と設定		
13	セキュアサーバ設定	apacheのSSL/TLS対応		
14	アプリケーションサーバ構築	Tomcatの導入と設定		
15	〃	Webアプリケーションの確認		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：Webアプリケーションの評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ネットワークセキュリティ		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	社内ネットワークの運用に必要なWindowsサーバ管理の方法を習得する。Windows環境においてActiveDirectoryを実現するネットワーク環境を構築する。			4単位 64時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	全体像の説明	ドメイン管理の仕組み		
3	環境構築	Windowsサーバの導入と設定		
4	〃	クライアントOSの導入と設定		
5	ActiveDirectory	ドメインの構築		
6	〃	ドメインの参加		
7	〃	複数クライアントから確認		
8	中間テスト	筆記テスト： 実技テスト：ドメイン参加クライアントの状態評価		
9	導入授業	前クール振り返り、次クール授業説明、到達点について		
10	ACL	アクセスコントロールリストの作成		
11	〃	共有とアクセス許可		
12	GPO	グループポリシーの考え方		
13	〃	グループポリシーの適用（ログオン名の非表示）		
14	演習	グループポリシーの適用（共有フォルダの設定）		
15	〃	グループポリシーの適用（ファイヤーウォールの設定）		
16	最終テスト	筆記テスト： 実技テスト：GPOの状態評価		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：基本情報処理対策		三屋	■1年 後期
到達目標	システムエンジニアに必要なコンピュータ、経営戦略、マネジメント、ネットワークなど、幅広い知識を講義と問題演習により習得する。基本情報技術者（FE）午前試験免除対象講座の22時間カリキュラム相当の内容とする。		4単位 64時数 実務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	筆記試験による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について	
2	セキュリティ	情報セキュリティ管理 セキュリティ技術評価	
3	システム開発技術	保守・廃棄	
4	プロジェクトマネジメント	プロジェクトの統合	
5	//	プロジェクトのステークホルダ	
6	//	プロジェクトの資源	
7	//	プロジェクトのリスク	
8	//	プロジェクトの調達	
9	//	プロジェクトのコミュニケーション	
10	サービスマネジメント	ファシリティマネジメント	
11	システム監査	システム監査 内部統制	
12	システム戦略	ソリューションビジネス システム活用促進・評価	
13	システム課企画	システム化計画 要件定義・調達計画・実施	
14	経営戦略マネジメント	ビジネス戦略と目標・評価	
15	技術戦略マネジメント	技術開発戦略の立案 技術開発計画	
16	法務	セキュリティ関連法規 労働関連・取引関連法規	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：基本情報処理対策		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	システムエンジニアに必要なコンピュータ、経営戦略、マネジメント、ネットワークなど、幅広い知識を講義と問題演習により習得する。 基本情報技術者試験に合格できる程度の情報関連知識を習得する。			4単位 64時数
				実務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	テクノロジ系	基礎理論		
3	"	課題演習		
4	"	コンピュータシステム		
5	"	課題演習		
6	"	ハードウェア		
7	"	課題演習		
8	"	データベース・表計算		
9	"	課題演習		
10	"	ネットワーク		
11	"	課題演習		
12	"	情報セキュリティ		
13	"	課題演習		
14	ストラテジ系	企業活動・法務		
15	"	課題演習		
16	"	課題演習		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：基本情報処理対策		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	システムエンジニアに必要なコンピュータ、経営戦略、マネジメント、ネットワークなど、幅広い知識を講義と問題演習により習得する。 基本情報技術者試験に合格できる程度の情報関連知識を習得する。			4単位 64時数
				実務経験有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		提出課題による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明、到達点、最終目標について		
2	テクノロジ系	技術問題の復讐		
3	ストラテジ系	経営戦略		
4	〃	課題演習		
5	〃	技術戦略		
6	〃	課題演習		
7	〃	システム戦略		
8	〃	課題演習		
9	マネジメント系	開発技術		
10	〃	課題演習		
11	〃	プロジェクトマネジメント		
12	〃	課題演習		
13	〃	サービスマネジメント		
14	〃	課題演習		
15	〃	監査		
16	最終テスト	筆記テスト：マネジメント系 実技テスト：		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：経営管理		測上	■ 1年 後期	
到達目標	グローバル化した経済の中で、その環境や方法流通の仕組みを理解し、ビジネスパーソンとして、分析&戦略を立てる事ができるスキル&知識を習得する			4単位 64時数 実務経験 無
授業の方法	講義		成績評価の方法・基準	筆記試験
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明		
2	経営学とは			
3	社会経営の基本的仕組み			
4	会社（株式会社）のしくみ			
5	取締役と執行役員の役割			
6	成長させるための経営計画と企業分析			
7	経営戦略の必要性			
8	マッキンゼーの7つのS			
9	組織と人の役割			
10	組織と人の役割			
11	持ち株式会社のしくみ			
12	成果主義で変わる会社の内容			
13	新製品の開発			
14	シックスシグマ			
15	商品価値を上げる ブランド戦略			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：経営管理		測上	■ 2年 前期	
到達目標	グローバル化した経済の中で、その環境や方法流通の仕組みを理解し、ビジネスパーソンとして、分析&戦略を立てる事ができるスキル&知識を習得する			4単位 64時数
				実務経験 無
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明		
2	決算書の読み方&経営分析			
3	経営分析で判断するポイント			
4	会社の倒産&再建			
5	情報化によって変わる経営			
6	インターネットビジネスの現状			
7	サプライチェーン・マネジメント・ロングテール			
8	個人情報保護法と経営			
9	経営のグローバル化			
10	業界再編成			
11	コンプライアンス経営			
12	ナレッジ・マネジメントとは			
13	ゲーム理論とは何か			
14	仮説、検証、実行のサイクル			
15	OWN会社の設立企画書を作ってみる			
16	企画書発表			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：経営管理		測上	■ 2年 後期	
到達目標	グローバル化した経済の中で、その環境や方法流通の仕組みを理解し、ビジネスパーソンとして、分析&戦略を立てる事ができるスキル&知識を習得する			4単位 64時数
				実務経験 無
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		筆記試験
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明		
2	決算書の読み方&経営分析			
3	経営分析で判断するポイント			
4	会社の倒産&再建			
5	情報化によって変わる経営			
6	インターネットビジネスの現状			
7	サプライチェーン・マネジメント・ロングテール			
8	個人情報保護法と経営			
9	経営のグローバル化			
10	業界再編成			
11	コンプライアンス経営			
12	ナレッジ・マネジメントとは			
13	ゲーム理論とは何か			
14	仮説、検証、実行のサイクル			
15	OWN会社の設立企画書を作ってみる			
16	企画書発表			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業経営論		測上	■ 1年 後期	
到達目標	職業人として備えておくべき、販売企画に関する広い知識を習得する。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	発表内容	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	商品販売企画案			
2	商品販売企画書作成			
3	商品販売見積書作成			
4	販売計画書作成			
5	商品仕入先選定			
6	商品購入準備			
7	商品棚卸 陳列			
8	商品棚卸 陳列			
9	店舗始動準備			
10	店舗運営開始			
11	店舗運営開始			
12	店舗運営分析			
13	店舗運営分析			
14	店舗運営分析 収支報告書作成			
15	発表準備資料作成			
16	発表会開催			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：クライアントコミュニケーション		山本	■2年 前期
到達目標	システムエンジニアとして依頼企業（クライアント）の要求とコンピュータの間を取り持つ仲介のスキルを身につける。クライアントはAdachi学園広報部とし、学生は学科を選び1人1つ学科のホームページを作成する。		4単位 64時数 実務経験 無
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	プレゼン、プレゼン時でのクライアントとのコミュニケーション力、クライアントによる作品評価を総合的に判断し評価する。
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	授業説明	
2	クライアントからのオリエン	クライアントより複数学科のホームページ作成の依頼（メインページ含めて4ページ／構成／機能／納品日）各学科のテーマ、原稿を確認 質疑応答	
3	ラフ案の検討	各学科のテーマ、原稿を確認、メインページのイメージを作成する	
4	ラフ案の検討	ラフ案検討（メインイメージ／階層／基本フレーム／ボタン案）	
5	ラフ案作成（全員作成）	メインイメージ／階層／基本フレーム／ボタンイメージなど、テーマに合わせて作成	
6	ラフ案作成（全員作成）	メインイメージ／階層／基本フレーム／ボタンイメージなど、テーマに合わせて作成	
7	ラフ案作成（全員作成）	ラフ案検討 全員（各学科）の作品を見て批評を行い修正する。	
8	クライアントへの提案	全学生各作品をプレゼン、クライアントの要求したポイントを説明、質疑応答	
9	クライアントより修正提示	クライアントより修正箇所の指示、次のステップのスケジュールを確認	
10	基本設計の調整	言語、階層、フレーム、ボタンなどの共通部分の確認と調整	
11	プログラミング作成	各学科のコンテンツ、階層の作成（4ページ）	
12	プログラミング作成	各学科のコンテンツ、階層の作成（4ページ）	
13	プログラミング作成	各学科のコンテンツ、階層の作成（4ページ）	
14	テスト	各学科をまとめて正常に動作するかテスト／修正を行う	
15	テスト	各学科をまとめて正常に動作するかテスト／修正を行う	
16	クライアントへのプレゼン	発表、評価、改善指摘	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：クライアントコミュニケーション		山本	■2年 後期
到達目標	システムエンジニアとして依頼企業（クライアント）の要求とコンピュータの間を取り持つ仲介のスキルを身につける。学生はチームを編成し、クライアントはAdachi学園広報部とし、学校のホームページを作成する。前期に作成したHPへのページ数追加/スマホ対応ページの作成/SEO対策を考慮した提案		4単位 64時数
			実務経験 無
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	オリエン、プレゼン時でのクライアントとのコミュニケーション力。クライアントによる作品評価を総合的に判断し評価する。
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	オリエンテーション / クラアントへのプレゼンは全員が実施	
2	クライアントからのオリエン	クライアントより前期の4ページに追加3ページを依頼 / スマホ対応ページの作成/SEO対策の要求を指示	
3	プログラミング作成	各学科のコンテンツ追加、階層の作成 (3ページ)	
4	プログラミング作成	各学科のコンテンツ追加、階層の作成 (3ページ)	
5	プログラミング作成/動作テスト	各学科のコンテンツ追加、階層の作成 (3ページ) / 動作テスト	
6	クライアントへプレゼン	各学科プレゼン/質疑応答	
7	クライアントへプレゼン修正指示	各学科プレゼン/質疑応答	
8	クライアントより修正確認	修正/動作テスト/納品	
9	スマホで閲覧可能に	Google Chromeを使用しスマホ閲覧が可能にする	
10	スマホ専用サイトの作成	HP用のコンテンツをスマホ専用サイトに作成する	
11	スマホ専用サイトの作成	HP用のコンテンツをスマホ専用サイトに作成する	
12	スマホ専用サイトの作成	HP用のコンテンツをスマホ専用サイトに作成する	
13	スマホ専用サイトの作成	HP用のコンテンツをスマホ専用サイトに作成する	
14	テスト	各学科をまとめ正常に動作するかテスト/修正を行う	
15	テスト	各学科をまとめ正常に動作するかテスト/修正を行う	
16	クライアントへのプレゼン	発表、評価、改善指摘	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：マーケティング		大野	■2年 前期	
到達目標	①市場調査／分析 ②広告および販売促進活動			2単位 32時数 実務経験 無
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		課題とレポート提出 (1,000文字以上)
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業			
2	マーケティング活動について	市場調査の実際、広告・販売促進活動の事例研究		
3	マーケティングの手法	オートメーション／コンテンツ／インフルエンサー／オムニバスなどの手法の事例研究		
4	マーケティングにおける3C	商品の3C「市場/顧客」(Customer)「競合」(Competitor)、「自社」(Company)分析事例		
5	3C分析	興味がある商品の3C分析を行い、理解を深める。		
6	広告・販売活動	購買層に合わせた、広告の種類(TV、ラジオ、交通広告、店頭貼り、チラシ、新聞広告) SP広告の種類と特性について		
7	広告・販売活動課題	キャンペーン広告を収集し、分析する(広告物をプリントに貼り分析を行い提出)		
8	課題の分析	前回の課題を分研究、キャンペーン広告の意図、ターゲット層に合わせた媒体かを確認		
9	市場調査	5人グループでテーマの商品のアンケートを作成50人分を収集		
10	市場調査	収集したアンケートの分析を行い、商品の企画を検討。		
11	商品の企画	市場を理解した上で商品を仮想開発し、広告戦略を立てる(キャンペーン、サンプリングイベント、CMなどの企画) 価格帯、ターゲット、ブランド		
12	調査結果のプレゼン手法	レーダーチャート、ポジショニングマップ、グラフなどを使用し商品のニーズをプレゼン		
13	各グループで発表	プレゼン15分 買いたくなるかどうかをアンケートで集計 グループにフィードバック		
14	マーケティングの手法	オートメーション／コンテンツ／インフルエンサー／オムニバスなどの手法の事例研究		
15	学習のまとめ	マーケティングの会社の仕事、業務について		
16	レポート課題	マーケティングを学んでのレポートの提出文字数1,000字以上		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：マーケティング		大野	■2年 後期	
到達目標	①市場調査／分析 ②広告および販売促進活動			2単位 32時数 実務経験 無
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		課題とレポート提出 (1,000文字以上)
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業			
2	マーケティング活動について	市場調査の実際、広告・販売促進活動の事例研究		
3	マーケティングの手法	オートメーション／コンテンツ／インフルエンサー／オムニバスなどの手法の事例研究		
4	マーケティングにおける3C	商品の3C「市場/顧客」(Customer)「競合」(Competitor)、「自社」(Company)分析事例		
5	3C分析	興味がある商品の3C分析を行い、理解を深める。		
6	広告・販売活動	購買層に合わせた、広告の種類(TV、ラジオ、交通広告、店頭貼り、チラシ、新聞広告) SP広告の種類と特性について		
7	広告・販売活動課題	キャンペーン広告を収集し、分析する(広告物をプリントに貼り分析を行い提出)		
8	課題の分析	前回の課題を分研究、キャンペーン広告の意図、ターゲット層に合わせた媒体かを確認		
9	市場調査	5人グループでテーマの商品のアンケートを作成50人分を収集		
10	市場調査	収集したアンケートの分析を行い、商品の企画を検討。		
11	商品の企画	市場を理解した上で商品を仮想開発し、広告戦略を立てる(キャンペーン、サンプリングイベント、CMなどの企画) 価格帯、ターゲット、ブランド		
12	調査結果のプレゼン手法	レーダーチャート、ポジショニングマップ、グラフなどを使用し商品のニーズをプレゼン		
13	各グループで発表	プレゼン15分 買いたくなるかどうかをアンケートで集計 グループにフィードバック		
14	マーケティングの手法	オートメーション／コンテンツ／インフルエンサー／オムニバスなどの手法の事例研究		
15	学習のまとめ	マーケティングの会社の仕事、業務について		
16	レポート課題	マーケティングを学んでのレポートの提出文字数1,000字以上		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：起業セミナー		大野	■2年 前期
到達目標	会社の種類（株式、有限、合同）と会社設立に関する法律、届け出、マネジメントなどをケーススタディーで学ぶベンチャー企業研究。ビジネスモデルの事例研究、価値創造のケーススタディー		2単位 32時数 実務経験 無
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	課題とレポート提出 (1000文字以上)
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	オリエンテーション 会社の種類と業の方法（学生起業、独立開業、フランチャイズ、など）	
2	歴史と経営者	過去の優秀な経営者とその経営手法について学ぶ（成功事例／失敗事例）	
3	歴史と経営者	過去の優秀な経営者とその経営手法について学ぶ（成功事例／失敗事例）	
4	会社の設立手続き	書類関係／登記／設立後の手続き	
5	資金調達方法	日本政策金融公庫、銀行融資（ビジネスローン）、クラウドファンディングなど	
6	マーケティング1	3Cの分析Customer（市場・顧客）Competitor（競合相手）Company（自社）	
7	マーケティング課題1	仮定の自分の会社を設定し3Cで分析を行う	
8	マーケティング2	4P分析（マーケティングミックス）Product（プロダクト：製品）Price（プライス：価格）Place（プレイス：流通）Promotion（プロモーション：販売促進）を企画する	
9	マーケティング課題2	自分の企業での仮想商品を設定し企画書を書く	
10	マーケティング課題2-2	プロモーション（販売促進ツール）店舗でポスター チラシやPOPを貰ってくるキャンペーンや、告知内容の分析（訴求テーマ、ターゲット、効果測定）を読み取る	
11	売上、経費、利益率	ラーメン店をモデルに利益率の計算を行ってみる。	
12	売上、経費、利益率	自分の店で利益を上げるための試算学習	
13	会社が納める税金	法人税、法人住民税、法人事業税、地方法人税、消費税、所得税、印紙税、など	
14	会社の節税対策	青色深刻、税制優遇制度、所得控除、税額控除など	
15	起業家を狙った詐欺事例	起業するにあたり、注意事項（悪質なセミナー、コンサルタントなどの事例研究）	
16	レポート課題	起業研究を学んでのレポートの提出文字数1,000字以上	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科
教科名：起業セミナー		大野	■2年 後期
到達目標	会社の種類（株式、有限、合同）と会社設立に関する法律、届け出、マネジメントなどをケーススタディーで学ぶベンチャー企業研究。ビジネスモデルの事例研究、価値創造のケーススタディー		2単位 32時数 実務経験 無
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準	課題とレポート提出 (1000文字以上)
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入授業	オリエンテーション 会社の種類と業の方法（学生起業、独立開業、フランチャイズ、など）	
2	歴史と経営者	過去の優秀な経営者とその経営手法について学ぶ（成功事例／失敗事例）	
3	歴史と経営者	過去の優秀な経営者とその経営手法について学ぶ（成功事例／失敗事例）	
4	会社の設立手続き	書類関係／登記／設立後の手続き	
5	資金調達方法	日本政策金融公庫、銀行融資（ビジネスローン）、クラウドファンディングなど	
6	マーケティング1	3Cの分析Customer（市場・顧客）Competitor（競合相手）Company（自社）	
7	マーケティング課題1	仮定の自分の会社を設定し3Cで分析を行う	
8	マーケティング2	4P分析（マーケティングミックス）Product（プロダクト：製品）Price（プライス：価格）Place（プレイス：流通）Promotion（プロモーション：販売促進）を企画する	
9	マーケティング課題2	自分の企業での仮想商品を設定し企画書を書く	
10	マーケティング課題2-2	プロモーション（販売促進ツール）店舗でポスター チラシやPOPを貰ってくるキャンペーンや、告知内容の分析（訴求テーマ、ターゲット、効果測定）を読み取る	
11	売上、経費、利益率	ラーメン店をモデルに利益率の計算を行ってみる。	
12	売上、経費、利益率	自分の店で利益を上げるための試算学習	
13	会社が納める税金	法人税、法人住民税、法人事業税、地方法人税、消費税、所得税、印紙税、など	
14	会社の節税対策	青色深刻、税制優遇制度、所得控除、税額控除など	
15	起業家を狙った詐欺事例	起業するにあたり、注意事項（悪質なセミナー、コンサルタントなどの事例研究）	
16	レポート課題	起業研究を学んでのレポートの提出文字数1,000字以上	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：eコマース		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	仮想の電子商店を立ち上げ、ECサイトの構築・運用の疑似体験を行う事で、電子商取引における必要な知識の習得を目指す。			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	レポート提出
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明		
2	eコマースとは			
3	インターネットビジネス			
4	マーケティング/ターゲット			
5	仮想電子商店事業計画			
6	仮想電子商店事業計画			
7	仮想電子商店制作			
8	仮想電子商店制作			
9	仮想電子商店制作			
10	仮想電子商店制作			
11	仮想電子商店制作			
12	仮想電子商店運用			
13	仮想電子商店運用			
14	クチコミ等分析			
15	優良ショップの手法を学ぶ			
16	レポート作成			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：全学科
教科名：スキルアップⅠ		三屋	■ 1年前期 □ 1年後期 / □ 2年前期 □ 2年後期
到達目標	1年前期履修カリキュラムの復習・サポート授業実施 業界EXPOまでのサポート		2単位 32時数
			実務経験 有
授業の方法	講義・実技	成績評価の方法・基準	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	導入 (はじめに)	教科ごとのカリキュラムを再確認 履修状況確認	
2	目標設定	目標設定 個別指導	
3	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導	
4	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導	
5	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導	
6	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導	
7	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート 個別指導	
8	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義 個別指導	
9	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義 個別指導	
10	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義 個別指導	
11	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義 個別指導	
12	就職指導	業界EXPO準備 個別指導	
13	就職指導	業界EXPO準備 個別指導	
14	就職指導	業界EXPO準備 個別指導	
15	就職指導	業界EXPO準備 個別指導	
16	前期まとめ	前期振り返り 後期に向けての目標等	

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：全学科	
教科名：スキルアップⅠ		三屋	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input checked="" type="checkbox"/> 1年後期 / <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期	
到達目標	就職対策 オンライン留学の実施から個々の視野を広げる		単位	時数
			実務経験 有	
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	就職指導	業界EXPO・エントリーシート		
		個別指導		
2	就職指導	業界EXPO・身だしなみ		
		個別指導		
3	就職指導	業界EXPO・直前仕上げ		
		個別指導		
4	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学		
		ビジネス分野		
5	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学		
		IT分野		
6	オンライン留学プログラム	業界EXPO準備		
		ペット分野		
7	テスト	テスト		
8	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学		
		スポーツビジネス分野		
9	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学		
		ファッション分野		
10	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学		
		学生交流会		
11	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学		
		まとめ		
12	後期授業ブラッシュアップ	理解度を確認、弱点サポート		
		個別指導		
13	後期授業ブラッシュアップ	理解度を確認、弱点サポート		
		個別指導		
14	復習とスキルアップ	後期内容を元の実習・講義		
		個別指導		
15	テスト・まとめ	まとめ		
		テスト		
16	目標設定の再確認	目標設定		
		個別指導		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：全学科	
教科名：スキルアップⅡ		三屋	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input checked="" type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期	
到達目標	2年前期履修カリキュラムの復習・サポート授業実施 業界就職・修飾後のサポート		2単位 32時数	
			実務経験 有	
授業の方法	講義・実技	成績評価の方法・基準		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入（はじめに）	教科ごとのカリキュラムを再確認		
		履修状況確認		
2	職業意識の確認	目標設定と仕事		
		個別指導		
3	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート		
		個別指導		
4	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート		
		個別指導		
5	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート		
		個別指導		
6	前期授業ブラッシュアップ	理解度を確認し、遅れをサポート		
		個別指導		
7	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義		
		個別指導		
8	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義		
		個別指導		
9	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義		
		個別指導		
10	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義		
		個別指導		
11	復習とスキルアップ	前期内容を元に実習・講義		
		個別指導		
12	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した		
		個別指導		
13	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した		
		個別指導		
14	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した		
		個別指導		
15	就職サポートとキャリアアップ	就職・キャリアアップを目指した		
		個別指導		
16	前期まとめ	前期振り返り		
		後期に向けての目標等		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：全学科	
教科名：スキルアップII		三屋	□ 1年前期 □ 1年後期 / □ 2年前期 ■ 2年後期	
到達目標	オンライン留学の実施から個々の視野を広げる 社会人教育			単位 時数
				実務経験 有
授業の方法	講義	成績評価の方法・基準		
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 ビジネス分野		
2	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 ビジネス分野		
3	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 IT分野		
4	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 IT分野		
5	オンライン留学プログラム	業界EXPO準備 ペット分野		
6	オンライン留学プログラム	業界EXPO準備 ペット分野		
7	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 スポーツビジネス分野		
8	テスト	テスト		
9	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 ファッション分野		
10	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 学生交流会		
11	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 ファッション分野		
12	オンライン留学プログラム	AICオンライン留学 まとめ		
13	社会人へのサポートとキャリアアップ	キャリアアップ 個別指導		
14	社会人へのサポートとキャリアアップ	キャリアアップ 個別指導		
15	社会人へのサポートとキャリアアップ	キャリアアップ 個別指導		
16	テスト	テスト		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Microsoft Office specialist		日巻	■ 2年 前期	
到達目標	プレゼンテーションの作成やスライドマスターの使い方などOfficePowerPointの基礎と応用を習得する		4単位 64時数 実務経験 有	
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	PC習得度・課題提出
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	導入授業	授業説明		
2	プレゼンテーションの作成と管理			
3	プレゼンテーションの作成と管理			
4	プレゼンテーションの作成と管理			
5	図形やスライドの挿入と書式設定			
6	図形やスライドの挿入と書式設定			
7	スライドコンテンツ			
8	スライドコンテンツ			
9	画面切り替え・アニメーションの適用			
10	画面切り替え・アニメーションの適用			
11	複数のプレゼンテーションの管理			
12	複数のプレゼンテーションの管理			
13	複数のプレゼンテーションの管理			
14	確認問題			
15	確認問題			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：Microsoft Office specialist		日巻	■ 2年 後期	
到達目標	プレゼンテーションの作成やスライドマスターの使い方などOfficePowerPointの基礎と応用を習得する			4単位 64時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	PC習得度・課題提出
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	導入授業	授業説明		
2	プレゼンテーションの作成と管理			
3	プレゼンテーションの作成と管理			
4	プレゼンテーションの作成と管理			
5	図形やスライドの挿入と書式設定			
6	図形やスライドの挿入と書式設定			
7	スライドコンテンツ			
8	スライドコンテンツ			
9	画面切り替え・アニメーションの適用			
10	画面切り替え・アニメーションの適用			
11	複数のプレゼンテーションの管理			
12	複数のプレゼンテーションの管理			
13	複数のプレゼンテーションの管理			
14	確認問題			
15	確認問題			
16	試験			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：プレゼンテーション		北島	■ 2年 後期	
到達目標	Windows・MACなどの幅広いアプリケーションの活用法を学ぶ			2単位 32時数 実務経験 無
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	アプリケーション操作の習得度	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	Word・Excelの確認			
2	Powerpointの操作（構成とデザイン）			
3	Powerpointの操作（オブジェクト・表示効果）			
4	プレゼンテーションの作成・動作			
5	プレゼンテーションの作成・動作			
6	illustratorの基本操作（ペンツール）			
7	illustratorの基本操作（レイアウト）（用紙サイズ・印刷）			
8	illustratorの基本操作問題			
9	Photoshopの基本操作（選択ツール）			
10	Photoshopの基本操作（レイヤーの活用）			
11	Photoshopの基本操作（画像の編集）			
12	illustratorとPhotoshopを活用した制作（名刺作成）			
13	illustratorとPhotoshopを活用した制作（DM作成）			
14	ビジネスシーンに合わせた資料作成（売上・会議資料など）			
15	ビジネスシーンに合わせた資料作成（売上・会議資料など）			
16	総合学習問題			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：英会話		lan	■ 2年 前期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		自己評価・授業態度 筆記試験・実技テスト
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	集中授業 各学科			
2	生徒自己紹介、講師自己紹介 今後の現場での英会話の必要性			
3	簡単な英会話フレーズを覚えよう 単語クイズ	2人組 練習 ロールプレイ		
4	挨拶英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
5	ホテル良く使うフレーズ 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
6	旅行会社で使う英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
7	レストランで使う英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
8	対応の英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
9	接客英会① 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
10	郵便局での英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
11	旅程の予約、取消、案内英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
12	病院での英会話 ショッピングでの英会話	2人組 練習 ロールプレイ		
13	レンタカー店での英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
14	接客英会話② 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
15	接客英会話③ 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
16	テスト 答え合わせ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：英会話		lan	■ 2年 後期	
到達目標	日常会話を英語でTRYし身につける			2単位 32時数 実務経験 有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		自己評価・授業態度 筆記試験・実技テスト
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	集中授業 各学科			
2	生徒自己紹介、講師自己紹介 今後の現場での英会話の必要性			
3	簡単な英会話フレーズを覚えよう 単語クイズ	2人組 練習 ロールプレイ		
4	挨拶英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
5	ホテル良く使うフレーズ 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
6	旅行会社で使う英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
7	レストランで使う英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
8	対応の英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
9	接客英会① 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
10	郵便局での英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
11	旅程の予約、取消、案内英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
12	病院での英会話 ショッピングでの英会話	2人組 練習 ロールプレイ		
13	レンタカー店での英会話 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
14	接客英会話② 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
15	接客英会話③ 練習	2人組 練習 ロールプレイ		
16	テスト 答え合わせ			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		三屋	■ 1年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		三屋	■ 1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数
				実務経験有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数 実務経験 有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：ワーキング・スタディ		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、業界の求める人材となるため、学校指定の会社にて実践を行う			6単位 96時数
				実務経験有
授業の方法	演習		成績評価の方法・基準	企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)		課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考
1	学校指定の会社での実務			
2	学校指定の会社での実務			
3	学校指定の会社での実務			
4	学校指定の会社での実務			
5	学校指定の会社での実務			
6	学校指定の会社での実務			
7	学校指定の会社での実務			
8	学校指定の会社での実務			
9	学校指定の会社での実務			
10	学校指定の会社での実務			
11	学校指定の会社での実務			
12	学校指定の会社での実務			
13	学校指定の会社での実務			
14	学校指定の会社での実務			
15	学校指定の会社での実務			
16	学校指定の会社での実務			

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修A		三屋	■ 1年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			8単位 128時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修A		三屋	■ 1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			8単位 128時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修A		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			8単位 128時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修A		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			8単位 128時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修B		三屋	■ 1年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			8単位 128時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修B		三屋	■ 1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			8単位 128時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修B		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			8単位 128時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修B		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			8単位 128時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準		企業による評価
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)		備考
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修C		三屋	■ 1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			16単位 256時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修C		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			16単位 256時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修C		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			16単位 256時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修D		三屋	■ 1年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			16単位 256時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修D		三屋	■ 2年 前期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			16単位 256時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		

学校名：専門学校九州スクール・オブ・ビジネス		授業担当	学科名：ITビジネス学科	
教科名：企業研修D		三屋	■ 2年 後期	
到達目標	授業内で学んだ知識・技術を生かし、企業の求める人材となるため、実践を行う			16単位 256時数
				実務経験有
授業の方法	演習	成績評価の方法・基準	企業による評価	
回	授業内容 (評価ポイント)	課題内容 (授業時間内での設定課題)	備考	
1	企業研修			
2	企業研修			
3	企業研修			
4	企業研修			
5	企業研修			
6	企業研修			
7	企業研修			
8	企業研修			
9	企業研修			
10	企業研修			
11	企業研修			
12	企業研修			
13	企業研修			
14	企業研修			
15	企業研修			
16	企業研修	企業評価振り返り		